

CS だより

日本キリスト教団逗子教会

牧師 小宮山剛

校長 渡辺 信

聖書のことば

『野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。』

マタイによる福音書 6章 28~29節

世界から収集したソロモンの栄華は、自分の周りを飾る美しさでした。野に咲く花の美しさは、精一杯自分の花を咲かせている美しさです。人間が美しいということは、自分の命を精一杯生きているということです
(『朝の道しるべ』より)



立春も過ぎ、寒い中にも少しずつ春の足音が聞こえる季節となりました。あちこちで、水仙の花も咲いています。でも、ずっと続くコロナの影響で、気分は晴れないなあ・・・と思っているひともいるかもしれません。今の学校生活のこと、これからの進路のこと、いろいろと心配なことがありますね。こういう時こそ、「神さまが共にいてくださる」ということを思い出してください。



CSでは、日曜日の礼拝を通して、教会に来られない皆さんのためにも、神様が共にいて助けてくださいますよう、祈っています。朝 9 時からのユーチューブでの礼拝に参加しましょう



**皆さんと、大きな声で賛美出来る日が
早く来ますように、**

2月6日の説教から『神さまにたよる』

新約聖書 マルコによる福音書 12章 44~41節

今回のお話は、やもめの献金についてのお話です。

神殿の貯金箱にレプトン銅貨を二枚捧げた貧しいやもめが、イエス様の目には誰よりもたくさん入れたように見えたそうです。このレプトン銅貨、これは今の日本のお金で表すと1枚=50円らしいので、これを二枚、つまり100円を入れた、ということですね。それだけを聞くと本当に少しのお金を捧げたようにしか思えませんが、何故イエス様はこうおっしゃったのでしょうか。

最初に、やもめって何でしょうか？聴き慣れない言葉ですよ。やもめとは、自分のお嫁さんや旦那さんが死んでしまった人のことを言います。結婚していた人が亡くなってしまって、一人で暮らしている人のことを指すんですね。今日の聖書で出てきたのは、そんな旦那さんを亡くした奥さんのお話でした。

他の人がたくさんのお金を入れている中で、旦那さんを亡くした貧しいやもめは、たったのレプトン銅貨二枚、ただ自分が生活するために必要なお金を、全て神様に捧げました。しかし、勿論その唯一の生活するためのお金が無くなってしまったら、やもめはご飯を食べられなくなってしまいます。しかしそれでも、生活費を全て出してしまうと、神様が救ってくださると、食べるものが無くて神様が与えてくださると信じて、全てを捧げたのでした。このお話から、このやもめはとって神様のことを信じていることがわかりますよね。

例えばの話をしてしまおう。今ここに100個の飴を持った花ちゃんと、10個の飴を持ったみかくんがいるとします。そこにお友達のゆうさんが飴を分けて欲しいと言ってきました。花ちゃんは沢山ある中から20個の飴を分けてあげました。これでも花ちゃんの飴は80個残っています。一方みかくんは、ゆうさんに喜んで貰えたらいいな、と言う気持ちで10個しかない飴を全部あげました。これでみかくんの持っている飴はもうありません。みかくんにはもう飴はありませんでしたが、ゆうさんはその様子を見てお礼に飴だけじゃなく、色々な種類のたくさんのお菓子をあげました。

つまりさっきイエス様がやもめに対してあのようにおっしゃったのは、お金持ちの人がたくさんお金がある中からそのうちのたくさんを入れるのよりも、神様をひたすらに信じて生活費を全て捧げたやもめの方が、神様を心から信じて、愛し、量だけでは無く、気持ちの部分でも、「誰よりも多く入れた」と感じたからだったんです。このように、献金というのは量ではなく、神様に頼って生きる、ということを現わしているのだと思います。

私はこの「神様に頼る」という感覚を、去年とても強く感じるがありました。私は今高校三年生で、大学に入るための勉強をしなくてはいけません。でも、なかなか勉強がうまくいかず、とても苦しい気持ちでいました。一番行きたいと思っていた学校は先生に難しいと言われていて、私自身でも、入れないんじゃないかと思っていました。そんな苦しい中で、耐えきれずにこの牧師先生の小宮山先生に相談をしました。「先生、今私は勉強が上手いじゃないんです。大学も入れないんじゃないかと思っています。」と。すると先生は、「そこまで難しく考えずに、神様が導いてくれるままに進んでいけばいいよ、神様に頼ればいいよ。」とおっしゃいました。そこで一気に気持ちが軽くなったような気がして、確かに大学に入れなくても入れても、それは神様の思召なんだと考えるようになりました。自分ができることはここまでです、あとは神様に信じて頼る。そうすることで、1人じゃないことを思い出すことが出来ました。そして結果は無事合格。神様に信じて頼って、勿論自分ができることは全力で出し切った。この結果は、やっぱり神様が導いて下さった結果なんだろうなと考えています。

皆さんも嫌なことや、苦しいことがあっても、まずは神様のことを思い出して、頼ることが出来たら、きっと私たちにとって、いい方向に向かっていけるのではないのでしょうか。



CS 礼拝のYouTube配信はこちらから ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



CS スタッフ紹介

こんにちは！

普段は高校生をしている岩崎野花(いわさきののか)です。

今は聖書科の先生を目指しながらお勉強しています。

春から進学で京都へ行きますが、それまでたくさんお話ししてください！



【ナルドクラス(小6~高校)担当】

これからの予定

【教会歴では】

受難節 (レント)・・・今年は3月2日～

イエスさまのお苦しみに思いを馳せる時
です



復活節 (イースター)・・・今年は4月17日

イエスさまが復活したことを祝う時です



聖霊降臨節 (ペンテコステ)・・・今年は6月5日

[U1][U2]

イエスさまの昇天の後、信徒の上に聖霊が降りたことを
祝う時です



【逗子教会では】

進級式・・・3月27日

皆さんの進級をお祝いします。次号でまたお知らせしますね。

挑戦しよう (正解は3月号に)

イエスさまはだれ？ ヨハネの福音書

イエスさまは、ご自分のことを「わたしは…です」としようか
いしていらっしやいます。暗号をといて、関係のある聖書箇所と
線でむすびましょう。

<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>よ</td><td>て</td><td>の</td><td>ふ</td></tr> <tr><td>つ</td><td>と</td><td>や</td><td>き</td></tr> </table>	よ	て	の	ふ	つ	と	や	き	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>ち</td><td>ほ</td><td>ん</td></tr> <tr><td>ま</td><td>す</td><td>こ</td></tr> <tr><td>な</td><td>み</td><td></td></tr> </table>	ち	ほ	ん	ま	す	こ	な	み		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>あ</td><td>え</td><td>ひ</td></tr> <tr><td>か</td><td>み</td><td>は</td></tr> <tr><td>し</td><td>も</td><td></td></tr> </table>	あ	え	ひ	か	み	は	し	も		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>く</td><td>り</td></tr> <tr><td>い</td><td>う</td></tr> </table>	く	り	い	う
よ	て	の	ふ																														
つ	と	や	き																														
ち	ほ	ん																															
ま	す	こ																															
な	み																																
あ	え	ひ																															
か	み	は																															
し	も																																
く	り																																
い	う																																

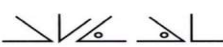
ヨハネ8:12

ヨハネ11:25

ヨハネ14:6


ヨハネ6:48

わたしは



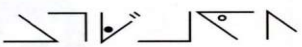
です。

わたしは




です。

わたしは




です。

わたしは




です。

わたしは



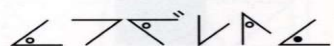
です。

わたしは



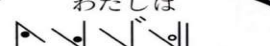
です。

わたしは



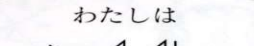
です。

わたしは



です。

わたしは



です。

ヨハネ15:1

ヨハネ10:7

1月号の解答⇒⇒⇒

